



うるわ

美しき魂

学校通信 日置市立伊集院中学校

令和4年12月21日第9号

「正しく、直く、潔き真の心」

「念すれば 美（うるわ）しき一生へ」

校長 田中 準章

念ずれば花ひらく
 苦しいとき 母がいつも口にしていた このことばを
 わたしもいつのころからか となえるようになった そうしてそのたび
 わたしの花がふしぎと ひとつひとつ ひらいていった



これは熊本県出身の詩人、坂村真民（しんみん）という人の代表作です。真民46歳の時、片方の目が失明寸前の状態になり絶望の底にあったときに生まれた詩で、「念ずれば花ひらく」という言葉は、真民が小さいとき夫に先立たれた母親が苦しい生活の中で自分を励ますために、念仏のようにいつも言っていた言葉だそうです。ただ、「念ずる」というのは単に心に祈るだけではないですね。『詩集 念ずれば花ひらく』のあとがきで真民は「念ずるというのは、前向きに生きようとするのであって、希望なのである。どん底に落ちても、念じながら這い上がってくる不屈の魂である。」と書いています。この詩は、前向きに生きるための「願いの詩」なのです。（坂村真民記念館）公式ガイドブック参照）

また、「念」という字を分解すると「今」と「心」になります。これは「今」に「心」を込めること、つまり「目の前にあることを一生懸命やる」ということなのです。

心に強く念ずることが、前向きに進もうとする希望につながっていく。そしてそれはどん底から這い上がってくる行動を伴う不屈の魂でもある。このことはとても大事な生きる指標であると思います。

さて、今年も残すところあとわずかとなりました。この時期になるとテレビ等では「この1年間を振り返って・・・」というフレーズをよく耳にします。12月は自分を省みる時期です。私たちもこの1年を振り返って「自分がどれだけ成長できたか」を確認してみましょう。

まず、1年前の自分を思い出してください。何を考え、どんな目標や夢を持っていたのでしょうか。きっと新しい年に大きな期待を抱き、夢に向かって成長した自分を想像していたことでしょう。

そして、振り返りましょう。その夢実現のために、この1年、この2学期をどう過ごしてきましたか。今月、今日をどう過ごしていますか。

1年前の学校だより12月号では大谷翔平選手の夢実現に向けた「マンダラ・シート」を紹介しました。大谷選手は学生の頃から明確な目標を持ち、その実現のために身につけるべきことを明確にし、努力してきました。人間性も磨いてきました。そして昨年に続き、今年も大活躍でした。まさに強く念じて努力し、日々実践を続けて、一つずつ花がひらいてきたんですね。今年世界中を熱狂させたサッカー・ワールドカップを戦った選手たちもそうです。みな強く念じて夢を叶えているんです。

大谷翔平選手

体のつ	コントロール	PSQ	90km/h	足元の強さ	体幹強化	軸のぶら下がり	肩甲骨の可動域	上りのボール	足の強化
柔軟性	体づくり	RSG	130km/h	マスのコントロール	コントロール	ボールを打つ	少ない	キレ	投手主導
スタミナ	可動域	頭出し	強さ	下半身の強化	体幹強化	肩甲骨の可動域	ボールを打つ	肩甲骨の可動域	
肩甲骨の可動域	少ない	頭出し	強さ	体づくり	コントロール	キレ	軸をぶら下がり	下半身の強化	体重増加
肩甲骨の可動域	少ない	マンダラ	マンダラ	ドラゴ	8球団	スピード	160km/h	体幹強化	スピード
強さ	勝利への執念	仲間を思いやる	人間性	運	変化球	可動域	ライナー	肩甲骨の可動域	
感性	愛の言葉	人間性	あいつ	ゴケ	無理	肩甲骨の可動域	肩甲骨の可動域	スピード	キレ
思いやり	人間性	感謝	道具を大切に	運	勝利への執念	スピード	変化球	勝利への執念	
孔像	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	

年が明けると新たな1年がスタートします。その節目にしっかりと1年の目標を立てましょう。そして、夢の実現のために何を頑張るか、何ができるか……ぜひ家族で話し合ってみてください。お互いの目標とそのための努力を家族で共有するのもいいですよ。

「念ずれば花ひらく」…夢や目標を持ち、そのことを強く思い続け、今日の前にあることを一生懸命やると、願いは現実のものとなる。このことは、今年の伊集院中学校のスローガン「美（うるわ）しき一瞬は 美（うるわ）しき一生を築く」に通じていると思いませんか。来年が一人一人にとって更なる成長の1年となりますように。

保護者の皆様におかれましてもこの1年本校の教育活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

地域の皆様から善意の贈り物を届けていただきました

12月14日(水)に、伊集院地域女性連絡協議会の皆さんから、今年も沢山のペットボトルキャップをいただきました。このキャップは、世界の子供達にワクチンを提供する活動に利用されています。本校でも生徒会が中心となり活動に取り組んでいます。年末には回収業者に引き渡す予定です。また、今回は、バザーの収益金の一部から図書券もいただきました。こちらも有効に使わせていただきます。



さらに、前日には日置市高齢者クラブの皆さんから、沢山の友愛タオルを提供していただきました。本校では、縫製して雑巾等として利用させていただき、大いに役立っています。地域の皆様の温かい御支援に、深く感謝申し上げます。

冬休み中のタブレット持ち帰りについて

本校では、1・2年生を対象に冬休み期間中のタブレット持ち帰りを実施します。夏休みと同様に、タブレットを活用した課題も設定していますので、計画的に利用してください。



なお、今回からタブレットを用いての利用可能な時間は、7時30分から21時までとなります。それ以外の時間帯については、日置市全体でインターネットに利用することができないように設定されることとなりますので、注意をお願いします。また、3年生については、タブレットの持ち帰りは実施しませんが、学習サポート用のeライブラリについては、ID・パスワードを利用して、ご自宅のPCなどから利用することは可能です。

最後に、PCの破損等がないように、ご家庭でも管理をお願いします。

美しき魂の足跡(表彰関係)

- ◆ JA共済作品コンクール(書道) 条幅の部/半紙の部 銅賞 ①
- ◆ 懸賞作文「小さな助け合いの物語賞」ハートウォーミング賞 ①
- ◆ 森のごちそうコンクール 優良賞 ③
- ◆ 鹿児島国際大学英語俳句コンクール 中学生写真俳句部門 審査員特別賞 ③
- ◆ 県吹奏楽アンサンブルコンテスト 金賞 ② 3名
- ◆ 県吹奏楽ソロコンテスト 銀賞 ②
- ◆ スポーツタニヤマ杯ソフトテニス冬季大会 女子Aクラス 優勝 女子チャレンジクラス 準優勝
- ◆ きりしまチャレンジカップソフトテニス大会 チャレンジャーの部 三位 伊集院中B
- ◆ 県中学生テニス新人戦 1年女子シングルルスの部 優勝 ①
- ◆ 学剣連かごしま剣道選手権大会 敢闘賞 ①

SOS出し方教室(12/14)

12月14日(水)1年生を対象に、日置市健康保険課の皆さんをお招きして、自分の心が「傷ついた」「つらい」と感じた時に、自分から信頼できる大人にSOSを出すことができるように「SOSの出し方教室」が行われました。



この中で、つらいときは信頼できる大人に相談すること、自分の強みや好きなことを活かしてストレスに対処すること、お互いを傷つけないこと、自分を大切にすること等を学びました。

さて、明日から冬休みが始まります。子ども達にとって一番身近で信頼できる大人は、保護者の皆さんかもしれません。子ども達から相談された際の、ポイントを示します。ぜひ参考にしてみてください。

《大人の対応ポイント》

- ① まずは傾聴し、ありのままを受け止める。
- ② 子供の気持ちに寄り添う。
- ③ アドバイスするよりも、解決方法を共に考える。
- ④ 大人自身も、問題を抱え込まず、学校や専門家等へ相談する。

1月の主な行事予定

1月の主な行事予定	
4(水)	仕事始め
10(火)	始業式・大掃除※④～⑥カット
11(水)	3年実力テスト～12日
14(土)	土曜授業・グループエンカウンター
16(月)	SC来校9:00～ 生徒会実践活動
17(火)	1・2年鹿児島学習定着度調査～18日
21(土)	青少年のための科学の祭典日置市大会 (市中央公民館9:30～)
23(月)	学級専門部会・学校専門部会・代議員会
28(土)	県PTA活動研究委嘱公開兼市PTA教育講演会(伊集院文化会館12:45～)